

平成29年度第2回文化財保護委員会 抄録

(市民憲章昭和)

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1)今年度の安城市所在の指定文化財管理調査の結果について

【資料説明】 会議資料1のとおり

・1～3班に分かれ実施。

1班:修理対象なし。

2班:数年以内に修理が必要なものはあるが、緊急的とまでは言えない。

3班:誓願寺の方便法身尊像のカビとりのクリーニング。

真宗墓碑の看板の改善。

神光寺の薬師如来再興縁起の軸の改善。

・今回の調査では各班とも、指定以外の文化財をいろいろ見せていただいた。中には非常に興味深いものも含まれていたもので、是非調査をしたい。また、そのための予算取りもお願いしたい。

・今後は文化財の保護・保存だけでなく、活用についても考えていく必要がある。

・文化財保護のために、所有者に長期的な資金計画を指導することも必要では。

(委員一同)

異議なし。

(2)新規指定文化財候補について

【資料説明】 会議資料2のとおり

・資料2にあるNo.1～4を新規の有力候補と考えている。

・No.1の神光寺の飛天像は椋山女学園の見田先生に見ていただいて判断を仰ぐ。(その際に桜井神社の薬師堂の神将の残欠も一緒に見てもらう。)

・No.2の幽囚日誌は、本格的に検証をするためにも指定したらどうか。2021年で大浜騒動150年になるので周年事業のひとつとしたらどうか。

・No.3の若一王子社、No.4の神光寺の相撲柱については、指定に先駆けて野本先生と調査を行いたい。

(委員長)

異議なし。

(3) 第1回姫小川古墳崩落防止対策検討会議の結果について

(事務局)

【資料説明】 会議資料3のとおり

8月16日の会議の結果報告。

古墳上にある浅間神社の屋根等から流れ落ちる雨水の対策をしなければ、古墳が崩れてしまうので、専門家による指導を仰いだ。

- ・雨どいの設置の可否を宮大工に確認。
- ・排水のパイプの設置の方法。剥き出しでなく、盛り土の下に。
- ・その際は本来の古墳の形状を復元するので、再度発掘調査をして形状を確定することが必要。

(委員)

了承。

(4) 平成30年度文化財関係事業の予算要求について

(事務局)

【資料説明】 会議資料4のとおり

(委員)

- ・本證寺の鼓楼の下見板の再塗装については、今回は見送ったが、全面同時でなく1面ずつでも悪くなる前に修繕すべき。
- ・調査予算を付けること。

3 報告事項

(1) 博物館協議会・文化財保護委員会合同研修会について

(事務局) 会議資料5のとおり

11月22日(水)に実施するので参加呼びかけ。

- ・新城市設楽原歴史資料館
- ・新城市長篠城址史跡保存館
- ・三河国分尼寺史跡公園
- ・大橋屋

(2) 安祥文化のさとまつりについて

(事務局)

10月7・8日に実施するので来場呼びかけ。